

6. パラメーター設定

3. はんだ槽の設定

ご購入時は50角の大きさになります。
ご使用内容に合わせて75角の大きさもご購入いただけます。

4. タイマーの設定

現在の積算時間は  ボタンで確認いただけます。

●タイマー時間の変更やリセット方法は…

ご使用になる槽の大きさを設定します。

 50角: 設定温度範囲 200～450℃/
400～840°F

 75角: 設定温度範囲 200～380℃/
400～720°F

お使いの槽の大きさに合わせて数値を上記表示になるように  または  ボタンを押し、切り換えます。表示の確認後  ボタンを押し、決定します。

 オフ

 10～9990の時間設定可能です。

 表示の選択後、 ボタンを押し、決定しますと次に設定時間の入力になります。

ご希望の時間を設定してください。

設定できる時間は10時間単位  ～  (10～9990時間) です。時間設定ができましたら  ボタンを押し、決定します。

注記:

設定時間が経過しますと  が表示され、アラームが鳴り、はんだ槽ヒーターの電源供給を停止します。電源スイッチを切り、再度電源スイッチを入れますと、アラーム等がリセットされ、上記で設定しましたタイマー時間に再設定されます。

時間の変更 …… 001～999の間の数値を入力してください。

リセット方法 …… 設定時間を途中でリセットを行う場合は一度違う時間に変更してから再度ご希望の数値を入力してください。

7. 設定温度の変更

●設定温度の変更には

工場出荷時は350℃に設定されています。

例: 350℃から400℃に変更する場合

1. 表示が350℃であることを確認します。

 ボタンを1秒以上押しすると3桁目が点滅します。3桁目が入力可能であることを示します。

2. 3桁目の入力

 または  ボタンを押し、希望の値を入力します。表示の確認後  ボタンを押し、2桁目の入力に移ります。

3. 2桁目の入力

 または  ボタンを押し、希望の値を入力します。表示の確認後  ボタンを押し、1桁目の入力に移ります。

4. 1桁目の入力

2桁目の入力時と同様の操作を行い、希望の値を選択後、 ボタンを押します。これで設定終了です。

設定終了後は設定温度表示が点滅し、はんだ槽の温度が上昇します。しばらくしますと、現状の温度を表示します。

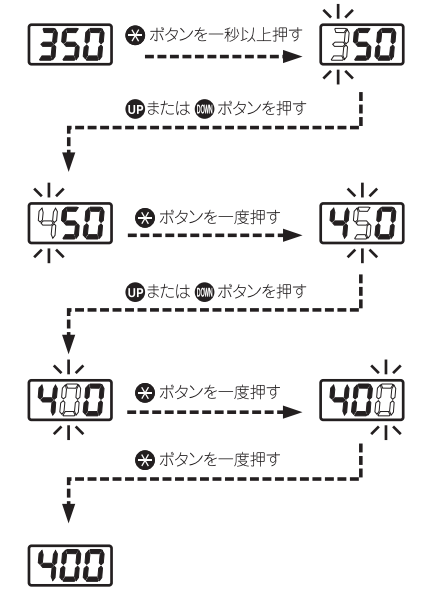
8. 表示温度と実際温度が違う場合

●オフセット入力

工場出荷時は0℃に設定されています。

例: 設定温度が400℃で、実際のはんだ温度が350℃の場合
設定温度との差は50℃であるので現在のオフセット値より050を入力します。

-  ボタンを押す。
 - オフセット入力モードに入ります。
- はんだの温度と設定温度の差を入力します。



注記:

50角の場合は設定温度範囲は200～450℃/400～840°F

75角の場合は設定温度範囲は200～380℃/400～720°F

入力可能な範囲
℃…… –70～+70℃
°F…… –158～+158°F

a. 3桁目の入力

-  または  ボタンを用い、3桁目の数値を決定します。入力可能な数値は0 (プラスの場合) とー (マイナスの場合) です。°Fモードは0、1 (プラスの場合) とー、ー1 (マイナスの場合) です。希望の数値を選択し、 ボタンを押します。点滅が2桁目に移ります。

b. 2桁目の入力

-  または  ボタンを用い、2桁目の数値を決定します。入力可能な数値は0～7です。(°Fモード時は0～9です。) 希望の数値が表示されたら、 ボタンを押します。点滅が1桁目に移ります。

c. 1桁目の入力

- 2桁目の入力と同様の操作を行います。入力可能な数値は0～9です。(°Fモード時は0～9です。) 希望の数値を選択後、 ボタンを押します。

表示と測定温度の確認ができましたら、すべての設定は終了です。

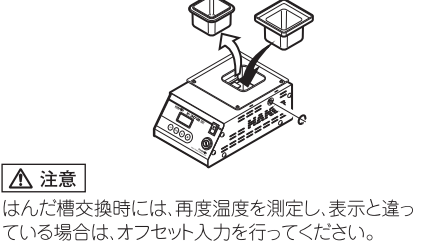
はんだ温度が設定温度に達しますと、ピーとブザーが鳴ります。その後、はんだの温度を約5～10分後測定してください。その時の温度が表示と違っている場合は、オフセット入力で温度を合わせます。

9. メンテナンス

警告

本機は高温となりますので、作業には十分ご注意ください。特に指示のある所以外では、必ず電源コードを抜いて電源を切っておいてください。

はんだ槽の交換方法



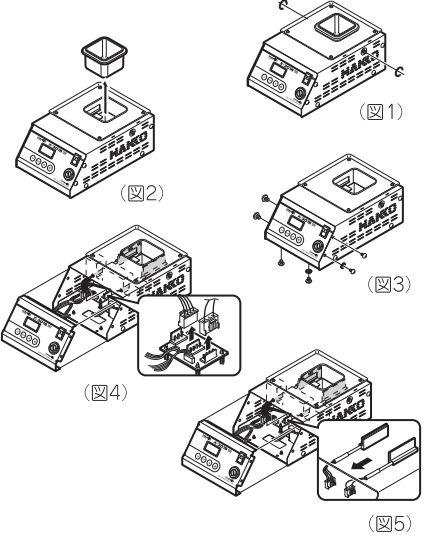
注意

はんだ槽交換時には、再度温度を測定し、表示と違っている場合は、オフセット入力を行ってください。

警告

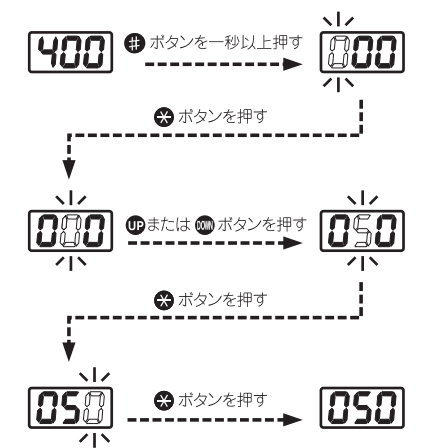
はんだ槽内の溶解したはんだは約450℃までにも達し危険です。はんだ槽交換を行う際は電源コードを抜きはんだや本体が十分に冷えたのを確認して行ってください。

ヒーターの交換方法



10. エラー表示

●センサーエラー



注記:

はんだ温度を測定する際には、同じ位置で測定してください。

1. 付属の六角レンチを使って本体の両サイドのねじを緩めます。

注記:

取外す必要はありません。

2. はんだ槽を上方に抜き取ります。

3. 新しいはんだ槽を差し込みます。

4. 両サイドのねじを締めます。

注意

この時、はんだ槽がしっかり固定されたのを確認してください。しっかり固定されていないと温度がきちんと上昇しない場合があります。

1. 本体の両サイドのねじを緩めます。(図1)

注記:

取外す必要はありません。

2. はんだ槽を上方に抜き取ります。(図2)

3. 本体止めねじを外します(6個)。(図3)

4. フロントパネルを前方にずらし、コネクター基板のコネクターを外し(図4)、ヒーターをそれぞれ引き抜きます。(図5)

5. 左右それぞれ新しいヒーターを差し込み、上記の逆の手順で取付けます。

メンテナンス終了後は、はんだの温度を測定し、表示温度と違う場合、オフセット入力を行ってください。

注意

ヒーターは左右分離型になっています。ヒーター右はセンサー付きです。

センサー断線の可能性があり、通電をストップします。ピーとブザーが連続して鳴ります。

11. トラブル発生時に

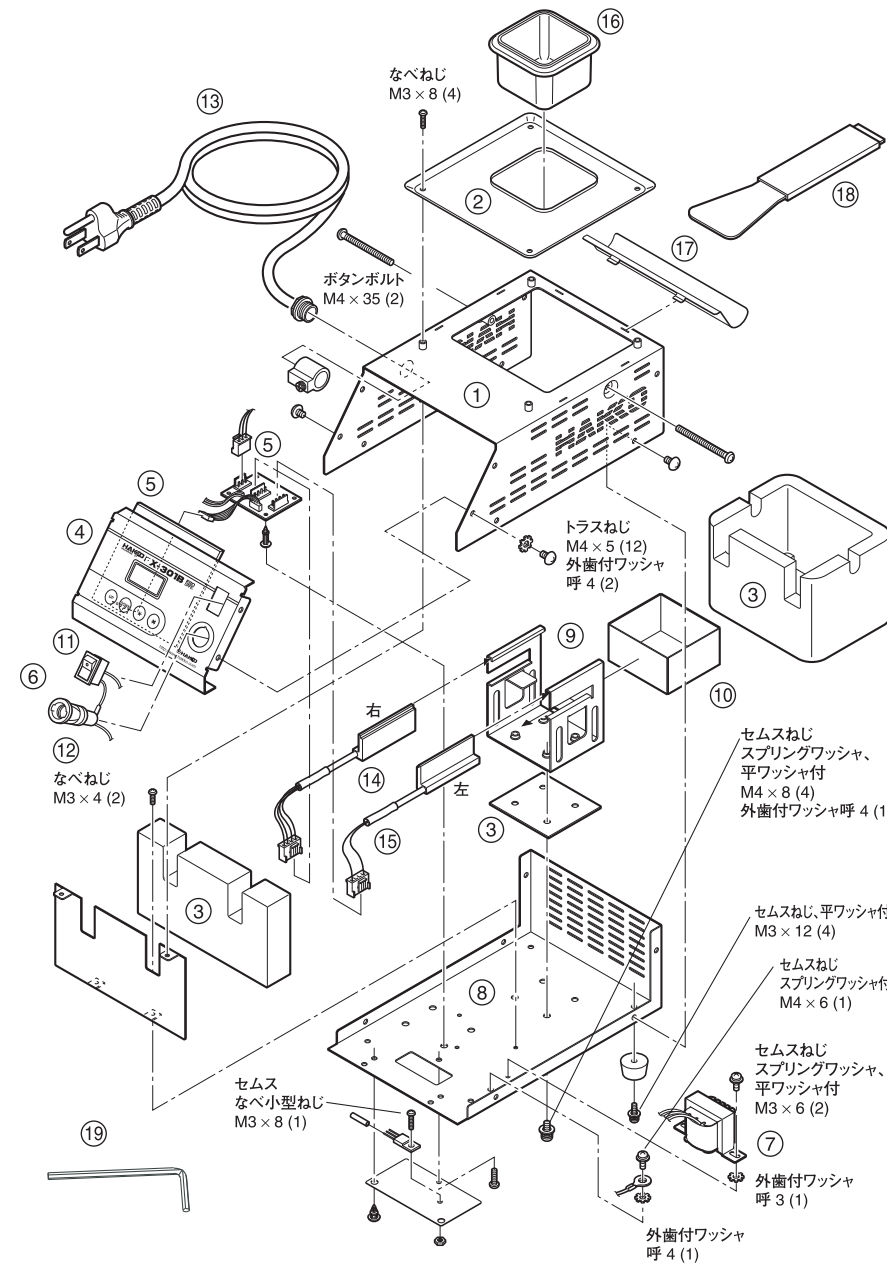
警告

● 内部点検や部品交換の際、電源プラグは必ず抜いてください。感電の恐れがあります。

● 電源スイッチを入れても動作しない。

点検 電源コードまたは接続プラグが外れていませんか。
対処: 接続する。
点検 ヒューズが切れていませんか。
対処: ヒューズが切れたのか原因を確認した後、ヒューズを交換してください。原因がわからない場合にも、交換してください。再びヒューズが切れる場合には、修理のため本体ごと送り返してください。

12. 分解図・部品リスト



●ハッコーFX-301Bはんだ槽

図番	品番	部品名	仕様
①	B2917	カバー	
②	B2918	上皿	
③	B2916	断熱材セット	
④	B3377	フロントパネル	メンブレンシート付
⑤	B3376	基板	制御、コネクター用
⑥	B2705	ヒューズ/125V-5A	100～110V
⑦	B2924	トランス	100～120V
⑧	B2926	シャーシ	ゴム足付
⑨	B2927	はんだ槽支持金具	
⑩	B2928	はんだ受け	
⑪	B1084	スイッチ	
⑫	B1134	ヒューズホルダー	
⑬	B1778	電源コード	ゴム2極接地型プラグ付

●交換部品

図番	品番	部品名	仕様
⑭	A1548	ヒーター/右センサー付き	100～120V
⑮	A1552	ヒーター/左	100～110V
⑯	A1539	ステンレスポット/ 50 x 50 x 42.2(mm)	特殊コート 50角
⑰	B2919	はんだ屑受け	
⑱	B2932	除去プレート	
⑲	B1417	六角レンチ	2.5mm

●交換部品

品番	部品名	仕様
A1540	ステンレスポット/75 x 75 x 51.2(mm)	特殊コート 75角